

# 各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 16 日  
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (16日未明 判明)
92	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	28頭 (繁殖牛15頭 育成牛1頭 子牛12頭)	80例目の 農場から 北東約200m	・5月13日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭の鼻腔にびらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
93	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	33頭 (繁殖牛16頭 育成牛4頭 子牛13頭)	37例目の 農場から 南西約250m	・5月13日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛3頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
94	児湯郡川南町	養豚	941頭 (繁殖豚85頭 種雄豚9頭 育成豚10頭 肥育豚495頭 子豚270頭 哺乳豚72頭)	12例目の 農場から 西約300m	・5月13日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚の鼻等に水泡等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭の鼻にびらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
95	児湯郡川南町	酪農・肉用牛 複合経営	148頭 (搾乳牛64頭 育成牛12頭 肥育牛67頭 子牛5頭)	15例目の 農場から 東約200m	・5月14日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、飼養牛1頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
96	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	16頭 (繁殖牛8頭 育成牛3頭 子牛5頭)	27例目の 農場から 北約50m	・5月14日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、飼養牛2頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
97	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	37頭 (繁殖牛20頭 育成牛5頭 子牛12頭)	65例目の 農場から 南西約350m	・5月14日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、飼養牛3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	2頭
98	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	7頭 (繁殖牛4頭 子牛3頭)	20例目の 農場から 西約100m	・5月14日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、飼養牛3頭の口内に水泡等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	1頭
99	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	26頭 (繁殖牛13頭 育成牛2頭 子牛11頭)	49例目の 農場から 北東約200m	・5月14日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、飼養牛に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付	3頭
100	児湯郡川南町	肉用牛肥育	当該農場270頭 (肥育牛270頭) 関連農場231頭 (搾乳牛・乳用肥 育合計231頭)	73例目の 農場から 西約850m	・5月14日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、飼養牛1頭にびらん等を、他の飼養牛に軽度の流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所へ送付  ・この農場の関連農場(2ヶ所。この農場から北東約500m、北西約800m)において、この農場と同一の飼養管理者が飼養管理を行っていたことが確認されたことから、当該農場の飼養牛全頭を疑似患畜としました。	2頭

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (16日未明 判明)
101	児湯郡 高鍋町	肉用牛肥育	308頭 (肥育牛259頭 種雄牛49頭) ※(社)宮崎県 家畜改良事業団	73例目の 農場から 南東約2km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月14日、(社)宮崎県家畜改良事業団の飼養管理者から宮崎県に対し、飼養牛の発熱等を確認したと届出</li> <li>・同日、立ち入り、飼養牛4頭の口腔内にびらん等を確認</li> <li>・同日、検体を動物衛生研究所へ送付</li> </ul>	5頭

